



平成 20 年 5 月 9 日

各 位

埼玉県川口市飯塚一丁目 18 番 8 号
株式会社アドミラルシステム
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号：2351 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 青木 邦哲
(Tel:048-259-5111)

平成 20 年 3 月期 通期決算ダイジェスト

Topics

創業以来最高の売上高を達成（売上高 1,470 百万円、前年同期比 121.5%）、
決済代行サービス「AS」ペイメント」提供開始
保有上場株式を全て処分し、財務基盤の安定化を図る

【通期業績概要】

当連結会計年度（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）における連結売上高は、**創業以来最高の売上高となる 1,470 百万円（前年同期比 121.5%）**となりました。

売上高が増加した要因としましては、インターネットサーバサービス事業が堅調に推移したことに加え、従来より提供しております、プロ野球予想・チーム育成オンラインゲーム「ドリームベースボール」、ウェブコンテンツの企画開発及びインターネットグループウェアサービス「HotBiz」等が堅調に推移いたしました。

また、平成 19 年 4 月に子会社化いたしました株式会社ネオスが展開するインターネット通信販売による売上高が上半期において好調に推移した結果、**デジタルコンテンツ事業における売上高が、718 百万円（前年同期比 168.4%）と大幅な増収**となったことによるものであります。

利益面につきましては、下半期において、インターネット通信販売の業績が悪化したこと等から連結営業利益が 325 百万円（前年同期比 96.6%）となりました。

また、当連結会計年度中における株式市場の混乱を受け、保有上場株式の価値が大幅に下落したことから、さらなる損失リスクを回避すること及び財務基盤の安定化を図ることを目的として、保有上場株式を全て売却いたしました。

その結果、連結経常利益は 228 百万円（前年同期比 67.0%）となり、連結当期純利益につきましては、106 百万円（前年同期比 51.0%）となりました。

【通期見通し】

次期においては、平成20年1月より開始した決済代行サービス「AS」ペイメント」の利用顧客数の増加ならびに流通金額の拡大に向けて、積極的に営業活動を行ってまいります。

また、当社グループは、主にインターネットサーバに自社で開発したアプリケーションを付加してネットワーク経由でサービスの提供を行っております。今後も同種の形態のサービスの提供を行っていくとともに、インターネットサーバサービス事業、デジタルコンテンツ事業に続く新規事業の立ち上げにも積極的に取り組むことにより、業容の拡大を目指してまいります。

さらに、当社グループは、平成 16 年 11 月に株式会社イー・フュージョン、平成 19 年 4 月に株式会社ネオスを子会社化し、平成 17 年 1 月には株式会社スポーツレイティングスを設立いたしました。今後につきましても、新規事業への投資活動を中心に、業容の拡大を目指していく所存であります。

次期の見通しにつきましては、インターネットサーバサービス事業は概ね引き続き堅調に推移していくことが見込まれておりますが、デジタルコンテンツ事業のうちインターネット通信販売を展開しております株式会社ネオスの前期からの売上減を保守的に見積もった結果、連結売上高1,280百万円（前年同期比87.1%）、連結経常利益200百万円（前年同期比87.7%）、連結当期純利益110百万円（前年同期比103.8%）を見込んでおります。

なお、本日発表の業績予想には次期提供を見込んでいる新規事業による業績の変動は見込んでおりません。

また、次期における 1 株当たり配当額につきましては、当期と同じく 600 円配当を予定しておりますが、当社グループの方針として、配当性向 20%～30%を一応の目安とし、1 株当たり当期純利益の増加に伴って、1 株当たり配当額につきましても継続的な向上に努めていく方針であります。

本資料に記載されております業績等の詳細な内容につきましては、当社ウェブサイト（<http://www.asj.ad.jp/>）に掲載しております「平成 20 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
連 結	1,280 百万円（87.1%）	200 百万円（87.7%）	110 百万円（103.8%）

（注）本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。したがって、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることもご承知おきください。

また、公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、営業利益、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

以 上